



# 第1章

# 水道事業ビジョン について

|                  |   |
|------------------|---|
| 1 目的 .....       | 2 |
| 2 位置づけ .....     | 3 |
| 3 計画期間 .....     | 4 |
| 4 フォローアップ° ..... | 4 |

## 1 目的

北千葉広域水道企業団(以下「企業団」という。)では、平成24年3月に企業団の水道事業ビジョンである「北千葉水道新時代21」を改訂し、『信頼される広域水道を将来へ』とする基本理念に基づき、水道用水供給事業の運営を進めてきました。

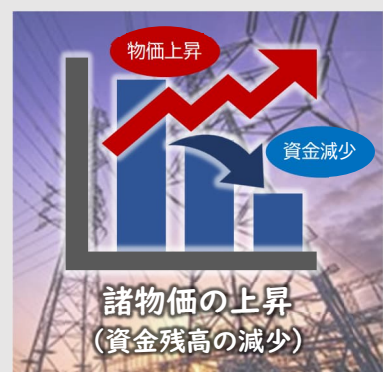
こうしたなか、改訂から10年以上の経過とともに、少子高齢化の進展や持続可能な社会の構築に対する意識の高まりなどの社会情勢の変化、水道施設の老朽化、自然災害の激甚化・頻発化など、水道事業を取り巻く環境は大きく変化しているところです。

また、企業団においては、創設事業(昭和48年度から平成12年度)の完了を契機として、事業の基軸を「建設」から「維持管理」に移行したところですが、創設期に整備した浄水施設や管路等の老朽化が進んできていることから、事業の基軸を「維持管理」から「再構築」へと転換していく必要が生じてきています。

そこで、「再構築」を基軸とした長期的な視点による企業団が目指すべき理想像とその実現に向けた取組の方向性を定めるため、「北千葉広域水道ビジョン」(以下「ビジョン」という。)を新たに策定しました。



### 水道事業を取り巻く環境の変化



## 2 位置づけ

このビジョンは、国・千葉県が策定している水道事業ビジョンや地域の水道基盤を共に支える構成団体の各種事業計画を踏まえつつ、水道事業・企業団を取り巻く将来の事業環境の見通しや、企業団のこれまでの取組に対する現状分析を踏まえた上で、今後の企業団の実情に沿った運営の基本理念や理想像、さらにそれらの実現に向けた取組の方向性を示したものです。

また、ビジョンで掲げる取組事項の実現にあたっては、ここで示した取組の方向性に沿って個別の事業計画等を立案し、進めていくこととします。



### 3 計画期間

ビジョンの実行計画の基軸となる経営戦略の計画期間は10年間としています。さらに近年の水道事業を取り巻く環境は刻一刻と変化を遂げており、これに柔軟かつ迅速に対応する必要があることから、計画期間を令和8年度から令和27年度までの20年間とします。

### 4 フォローアップ

ビジョンで掲げる取組事項の達成状況及び進捗状況については、経営戦略や水道事業ガイドライン(PI)などの評価・分析を通じた PDCA サイクルにより、継続的な進捗管理を実施します。

また、継続的な進捗管理にあたっては、事業環境の変化や事業推進において生じた課題、事業の有効性などを確認しつつ、事業の推進または見直しについて適切に判断していきます。

